

第62回「ハートミーティング」意見交換の内容について 京都市まち・ひと・しごと・こころ創生本部「若手職員検討チーム」のメンバー

★市長からのコメント

- それぞれのグループごとに議論が凝縮されており、非常に簡潔で、ポイントを押さえた見事なプレゼンであった。ぜひとも実現したい提案ばかりである。
- この場を単なる提言発表会ではなく、我が事として実現を図る一歩としてほしい。
- 京都市の教育環境など、魅力を十分にアピールできていないという課題や、これらの提言を実現させるため、どこで財源を生むのかなど、次の段階では更なる掘り下げを行ってほしい。
- 京都市の職員が率先して、生き方のモデルをお示しすることで京都の街は変わるのではないかと改めて感じている。
- これから求められる市役所職員の仕事は、まずはよりよい京都のため、市民の皆様の思いを汲んだシナリオを書くことである。そして、市民の方々と共に実現できるようプロデュースすることである。

★参加メンバーからの主な声

- 市長より、各グループの提言内容について、良かった点や、更に工夫できる点など具体的にアドバイスをいただき、勉強になりました。
- 若手職員の検討ということで、実施困難度はあまり考えず、普段の業務とは違った観点や切り口からアプローチしました。この提案を通して、若手職員の生の声を市長に聞いていただくことができ良かったです。
- 市長の「職員は裏方で、市民の皆様方を主体とした活動の実現を」という発言などから、市民の方々との協働や持続可能な行政を確立していく決意を肌で感じました。
- 今回の提案を更に深めて実行していきたいと言ってもらい、今後の活動が楽しみになりました。
- 自分たちが考え、行った仕事について、市長にプレゼンし、その感想をいただいたことは、緊張感もあり、今後仕事を進める中で、一つのステップになる良い経験でした。